

地域の实情に合わせて作る「地震・津波避難支援マップ」

田村隆雄 (徳島大学 環境防災研究センター 防災科学部門)

応神地区 地震・津波避難支援マップ (東) 平成24年3月



応神(おうじん)地区 2012(平成24)年3月

応神地区は徳島市北部に位置し、吉野川と今切川に挟まれた地域です。「河川津波」に注目して「堤防高さ」や「河口堰ゲート操作」の解説と安全な避難方向を掲載しています。新規に設けた緊急避難場所については概観写真を掲載して、その周知と利用を促しています。

応神地区 地震・津波避難支援マップ (西) 平成24年3月



川内地区 地震・津波避難支援マップ⑤ (下別宮・小松・旭野) 平成27年3月



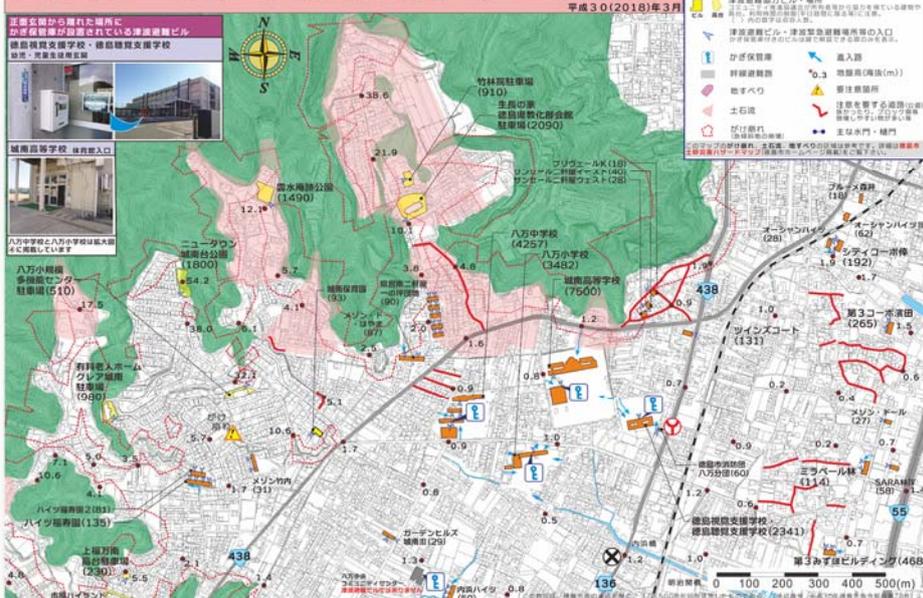
川内(かわうち)地区 2015(平成27)年3月

川内地区は徳島市北東部の沿岸部に位置し、地盤が低く、高い建物や場所が極めて少ない、津波災害に対して大変脆弱です。特に海岸付近には、短時間で徒歩避難可能な津波避難ビルや緊急避難場所が全くないため、自動車避難を前提としたときの避難場所と避難時間、注意事項を掲載しています。

川内地区 地震・津波避難支援マップ 平成27年3月版



八万地区 地震・津波避難支援マップ (拡大図③) 平成30(2018)年3月



八万(はちまん)地区 2018(平成30)年3月

八万地区は山地、河川、海岸など地形変化に富む地域です。地盤沈下や液状化、斜面災害への注意を喚起するために、土砂災害ハザードマップや水害地形分類図の情報を掲載しています。古くからの集落の中を通る道路は狭く見通しが効かないことから赤色として注意を喚起しています。

八万地区 地震・津波避難支援マップ (全体図) 平成30(2018)年3月

